

# 今、私たちの できること…

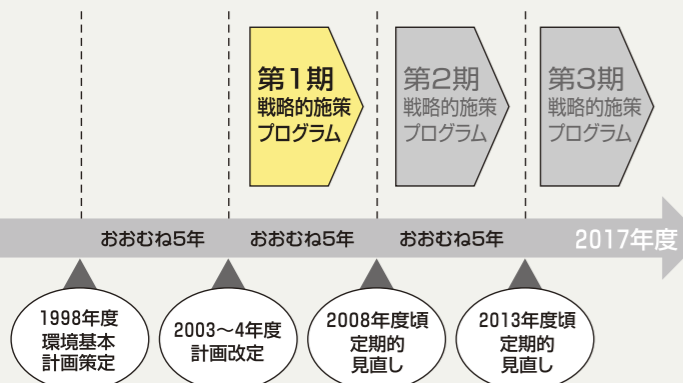
## 【環境基本計画 第5章 戦略的施策プログラム】

「戦略的施策プログラム」は、札幌が優先して取り組まなければならない課題を効果的に解決し、計画全体を推進するために、3つのテーマを設定しています。テーマごとに市民、企業、活動団体、町内会、行政などがそれぞれどのように取り組みを進めていくかを、期間を定めて示しています。

右に、2005～2009年の期間における取り組みの一部をご紹介します。

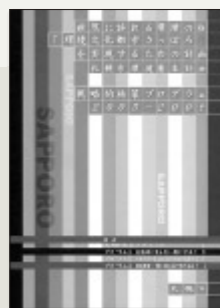
### ■ 行政の取り組み例

- 市民・企業・活動団体・町内会等の取り組み例



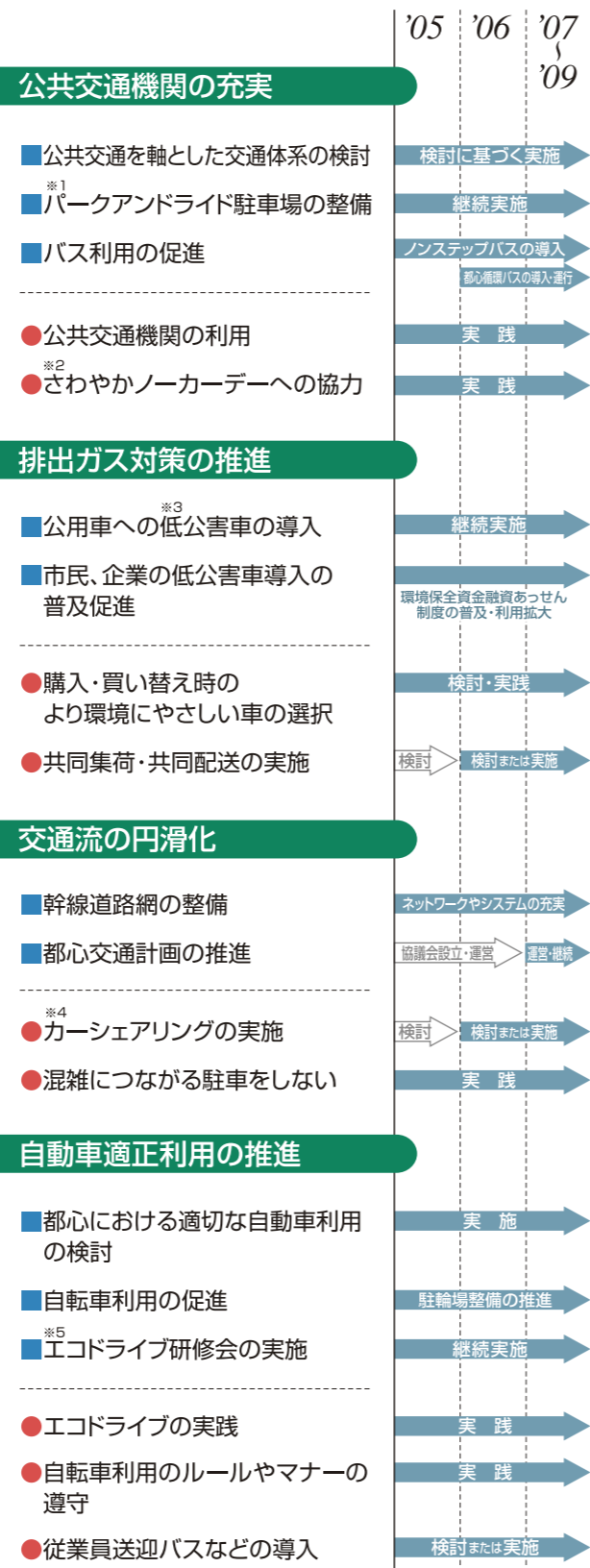
### 戦略的施策プログラム

「戦略的施策プログラム」は、「札幌市環境基本計画」の別冊として発行しています。ご希望の方は、札幌市環境局環境事業部計画課（裏表紙参照）までお問い合わせください。

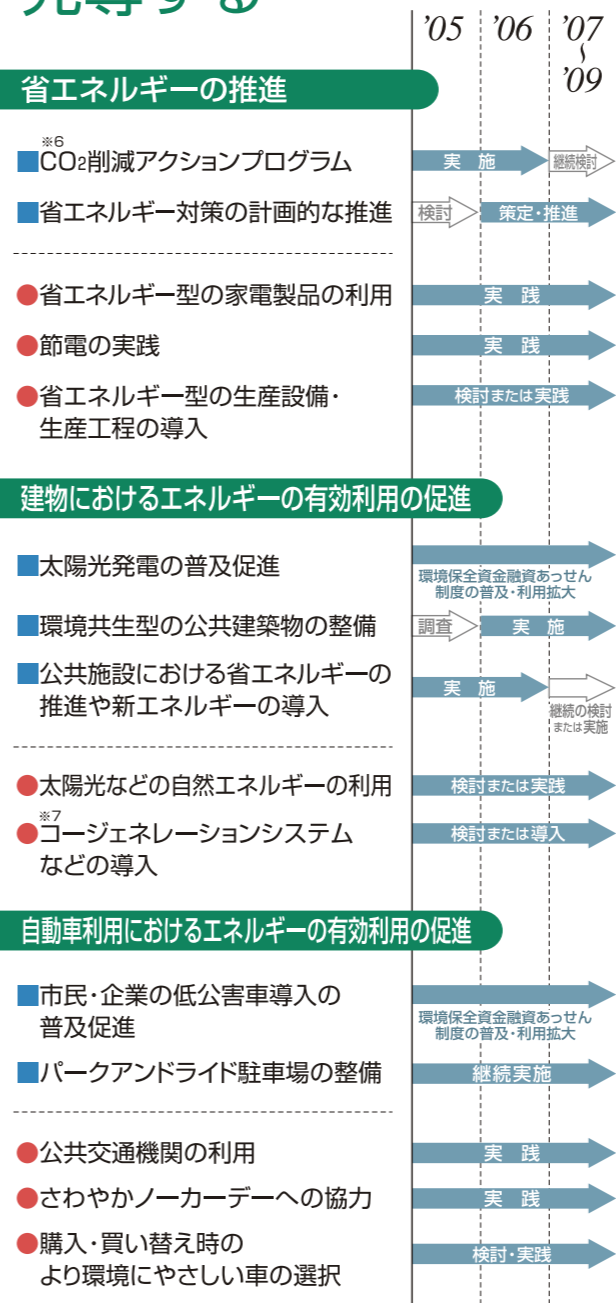


2005年札幌市発行

## 自動車に頼らない街にする



## エネルギーを大切に使う社会を先導する



※1 パークアンドライド：  
自家用車で目的地まで直接行かず、近くの公共交通機関の駅まで自家用車で行き、駅周辺の駐車場に駐車して、そこから公共交通機関に乗り換えて目的地まで行くことです。

※2 さわやかノーカーデー：  
都心の交通混雑や排出ガスによる大気汚染などを改善するため、札幌市では、毎月5日と20日を、できる限り車の使用を控える「さわやかノーカーデー」と定めています。

※3 低公害車：  
電気や天然ガスなどを動力源とする自動車や、ハイブリッド自動車など、従来の自動車よりも環境への負荷が少ない自動車の総称です。

※4 カーシェアリング：  
1台の自動車を複数の会員が共同で利用する、自動車の新しい利用方法です。利用者は管理団体の会員となり、必要な時にその団体所有の自動車を借りて使用するしくみです。

※5 エコドライブ：  
自動車からのCO2排出量を削減するための、環境に配慮した自動車の使い方のことです。運転操作やタイヤの空気圧チェック、事前の走行計画などの項目があります。

※6 CO2削減アクションプログラム：  
札幌市ではCO2の排出量を削減をめざし、市民・事業者・行政が一体となり、環境に配慮した行動をするための事業を「CO2削減アクションプログラム」として数多く実施しています。

※7 コージェネレーションシステム（熱電併給システム）：  
石油や天然ガスを燃焼させて発電するとともに、排熱を給湯や冷暖房に利用することによって、熱効率の向上を図るシステム。

※8 環境教育リーダー制度：  
人材の派遣を通じて、学校や市民の自主的な環境教育・学習を支援する制度です。市が委嘱した環境教育リーダーを学校の授業やクラブ活動、市民グループ主催の自然観察会などへ派遣します。

※9 環境保全アドバイザー制度：  
環境に関する各分野の専門家の派遣を通じて、活動団体や市民の自主的な環境教育・学習を支援する制度です。市が委嘱した環境保全アドバイザーを市内の市民団体、NGO、町内会、PTAなどが主催する学習会・講演会などへ派遣します。

## 環境教育・学習に街全体で取り組む

